

## 【令和6年度 社会科授業改善推進プラン】

### 社会科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

社会科で身に付けさせたい力は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に必要な公民としての資質や能力である。そのためには、社会に対する関心を高めるとともに、様々な資料等から適切に必要な情報を読み取り、社会的事象について多面的・多角的に考える力が必要である。そこで、今年度も資料から読み取った内容をもとに考察し、ふさわしい用語や言葉を使ってまとめたり、発表したりする授業に重点的に取り組む。また、ふさわしい用語や語句を使って自分の意見を表現できるように、知識・理解の定着を図る。

### 学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	意欲的に授業に臨むことができ、毎授業自分から発言する生徒が多くみられる。一方、自分の考えを文章化するとき、問いに対して正対できていない生徒や、自分の考えをまとめることが苦手な生徒が一定数いる。	意欲的に授業に参加し、積極的に活動に取り組むことができている。また、社会的事象への興味・関心が高い生徒が多い。 一方で、見通しを立て、自ら課題を解決しようとする姿勢を育む必要がある。	知識・理解の深化が見られる生徒が多い。また、授業に対しても主体的に参加することができるようになってきた。一人1台学習者用端末の活用についても効果的に行うことができる。
指導上の課題	一人1台の学習者用端末を活用した授業を、生徒の実態に合った形で効果的に行うことや、その際、評価をどのようにするかが課題である。	毎授業の振り返りに対して、問いに正対できないことや、内容がふかめられていない生徒が多いことが課題である。	自分の意見を表現する場の設定が不十分であることが課題である。また、学習課題に対するまとめを記述することが苦手な生徒がいる。

### 改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のまとめを単元まとめシート等を活用して丁寧に行い、自らの言葉でまとめる場面を増やし学習活動を充実させていく。</li> <li>・プリントを活用して、知識を増やし、単元ごとにテストを実施し、知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサプリを活用して、知識の定着を図る。</li> <li>・自分の考えを表現する場面を増やし、学習活動を充実させる。</li> <li>・単元の初めの授業で見通しを立てやすく、自らの実生活に沿った課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめ、表現する場面を設けることで学習活動を充実させていく。</li> <li>・ワークを活用してさらに知識を増やし、毎週テストを実施することで、知識の定着を図る。</li> </ul>
指導面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との対話を通して、生徒主体の授業を展開する。</li> <li>・一人1台の学習者用端末を用いて課題に取り組み、自分の考えを深める活動ができるような授業を実践していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを表現する場面を増やし、教員と生徒や生徒と生徒などの対話を中心とした授業を実践していく。</li> <li>・自ら問いを立て、その解決に向けての学習ができるように授業を組み立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを表現する場面を増やす。また、学習課題に対して、全体で整理をしてから、まとめの記述時間を設けるようにする。</li> <li>・生徒の学習活動を丁寧に見取り、そこで見いだされた課題について、PDCAサイクルで授業を改善していく。</li> </ul>

### 評価

- ①授業アンケート結果による達成度評価
- ②小テストや定期テスト観点別学習状況による評価
- ③提出物による評価